



発達障害者への支援 公共施設等総合管理計画

堀口 順
(市民クラブ)



質問 安心見守りカードの作成が必要と考える。これも発達支援センターの発達障害者への切れ目のない支援の取り組みは。

答弁 義務教育終了後も必要な支援が、引き続き得られるよう障害福祉課や県発達障害者支援センターなどに引き続きほか、本人や保護者の同意の上、情報提供等もしている。発達障害は、正しい理解と適切な関わりが重要で、生涯を通じた支援体制の整備が求められている。本市でも、ライフステージに応じた切れ目のない支援が提供できるよう、関係部署や社会資源との連携を図り、継続的な支援に取

り組んでいきたい。

質問 公共施設等総合管理計画が重要と考えるが、学校施設の建築年数と割合、改築実績、建設維持補修の費用や主な内容は。

答弁 建築年数別の学校数と割合は、建築後40年超が34校で41%、築30年から39年が39校で47%、築30年未満が10校で12%である。平成18年度以降の新設、改築は、校舎が8校、体育館が8校であった。建設維持補修の費用は、25年度が約20億円、26年度が約33億円、27年度が約29億円である。主な内容は、校舎の改築工事、屋上防水工事、校舎等補修整備工事である。



地区公民館の運営、施設整備 介護予防サポーター

渡邊 幹治
(新風会)



質問 公民館利用者数や各種サークル団体の減少に対する本市の対応は。

答弁 公民館では地域の特色を生かした事業を企画し、公民館だよりやインターネット配信により情報提供している。また、子育て世代や若者向け講座の開催や参加しやすい日時の設定など、多くの市民に参加していただけのように取り組んでいる。

質問 介護予防サポーターの活動拠点となる場所の確保支援策

レ洋式化の現状は。また、エレベーター設置の考えは。
答弁 現時点で、1階トイレ男女1カ所の洋式化が全公民館で終了し、2階、3階も順次進めている。また、エレベーターの設置は、多くの公民館で建設後かなりの年数が経過しているため、建て替えや新設の際に検討していきたい。



高崎市染料植物園の設立 オオキンケイギク

白石 隆夫
(新風会)



質問 高崎市染料植物園の設立経緯と実績は。また、植物染色に特化したことの特徴は。

答弁 本市は、かつて「高崎絹」として、染織の歴史を持つ街であったことから、平成6年4月に観音山丘陵に開園した。染料植物の保護や育成、植物染織作品の展示、染色体験など染色に関する理解と普及に努めている。27年度は藍染の染色体験や講習会などに2254人が参加し、入園者数は約3万4000人、染色工芸館の入館者数は約9700人であった。日本に古くから伝わる植物染色を体感できる染料植物園は、国内でも他に例

のない価値ある施設と考える。
質問 特定外来生物のオオキンケイギクは、以前大規模な群生や市有施設での生息もあつたが、最近では少なく感じる。特別な指導等があつたのか。

答弁 以前は道路の法面緑化等に利用されてきたが、繁殖力が強く、生態系に悪影響を及ぼすため、特定外来生物に指定された。これまで、本市の国道や県道の路側帯等で確認されており、国や県に防除を依頼している。市有施設で確認された場合、所管課で迅速に対応し防除しており、地道な対応が徐々に効果を上げていく。



市有施設のトイレ洋式化 上野三碑のトイレ方法

木暮 孝夫
(公明党)



質問 利用者ニーズを考えると和式トイレの洋式化が人に優しいまちづくりにつながると考える。古い市有施設には和式トイレが多いが、洋式化の現状は。

答弁 本市では、学校施設44%、公営住宅87%、社会教育施設66%、文化施設65%、スポーツ施設35%の建物でトイレの洋式化が進められている。

質問 市有施設の長寿命化計画では、トイレの洋式化を最優先

は。また、高齢者あんしんセンターとの連携や協力の考えは。

答弁 一例として、総合保健センターを活動場所として実施するものもある。また、高齢者の



多胡郡正倉跡地とバイパスの事業化 里山元気再生事業

飯塚 邦広
(新風会)



質問 現在試掘している正倉跡地を今後どのように進めていくのか。

答弁 多胡郡正倉跡は、古代多胡郡の実存を示す重要な遺跡である。現在、国指定を目指して発掘調査報告書の作成を進めている。

質問 正倉跡地に隣接の国道254号バイパスと高崎神流秩父線バイパスの事業化の可能性は。

答弁 市が平成28年度に遺跡保存を表明したことにより県は、遺跡と重なる区間の254号バイパス道路計画について廃止の方向で協議を進めたいとしている。また高崎神流秩父線バイパスは事業化に向け都市計画変更手続きを進めるとしている。市

新入学準備用品

社会参加は高齢者自身の生きがいや介護予防にもつながることから、高齢者あんしんセンターなどと積極的に連携しながら地域づくりを推進していく。

質問 有善鳥獣が出没しづらい環境の整備という視点で実施されている里山元気再生事業の概要と課題は。

答弁 里山元気再生事業は、竹やぶや里山を整備する地域団体やボランティアの活動を支援するものである。下刈り機器類の借上料や燃料代などが対象経費となる。対象の竹林が管理放棄されたり、所有者の特定や整備の承諾に時間がかかることが課題となっている。



障害者差別解消法の対応 子育て支援

小野 聡子
(公明党)



質問 民間の合理的配慮を提供する取り組みに支援する自治体もある。企業や飲食店などに障害者差別解消法の合理的配慮をどう周知、啓発しているのか。

答弁 ホームページや情報誌などで周知している。今後も障害者差別が起らない社会の実現を目指し、民間企業等に対する情報共有や制度の周知啓発について、関係機関と連携を図り有効な対策等を研究していきたい。

質問 電子母子手帳の導入の考えは。また、産後に鬱状態になる方がいる。心の健康状態をチェックできるアプリなども開発されているが、本市の対応は。

答弁 電子母子手帳は、国や他の自治体の動向等を注視し、調査研究していきたい。また、産後鬱の危険度を測る産後鬱質問票を産後、返送してもらい、リスクが高い産婦には助産師や保健師が訪問し、支援している。
質問 生活保護世帯には入学前に入学準備金が支給されている。支給のタイミングが重要と考えるが、準要保護世帯の新入児童生徒学用品費の支給時期はどのようになっているか。
答弁 申請は、入学後の4月中旬に行ってもらい、6月に確定する前年の所得により市が認定し、7月に支払いをしている。

日本のロゼッタ・ストーンとしてアピールできないか。
答弁 知名度向上のため、平成27年度に公募でロゴマーク選定をし、看板や旗に使用している。



外国人観光客の受け入れ アリーナシャトルバス

時田 裕之
(新風会)

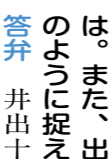


質問 外国人観光客の受け入れ態勢で宿泊施設の外国語対応は。また、外貨両替機設置の考えは。

答弁 宿泊施設では英語が話せるスタッフを配置したり、タブレット端末の通訳アプリを利用して対応している。また、外貨両替機の設置は、需要や設置費用などの問題もあるため、費用対効果を検証し、関係部署とも連携しながら研究していきたい。

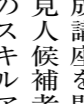
質問 外国人観光客の受け入れ利用状況は。また、臨時バスではなく、路線バスとした理由は。また、大相撲高崎場所、チャリディング大会などの開催日に特に利用が多かった。また、高崎アリーナが、さまざまな目的や時間帯で利用されるため、来

28年度には小・中学生向け副読本を作成し授業で活用している。また、ご指摘のキャッチフレーズについては、県や登録推進協議会に伝えていきたい。



井出十字路と浜川運動公園 地元産地元消費

木村 純章
(市民クラブ)



質問 浜川運動公園の拡張による井出十字路の交通渋滞の対策は。また、出入り口の構想はどのように捉えているのか。

答弁 井出十字路は、県の「はばたけ群馬・県土整備プラン」で、平成34年度までに改良に着手するとしているが、交差点付近は住宅が建ち並び地元調整が重要となるため、引き続き県に要望していく。また、アクセス道路は浜川運動公園通り線をメインに進めており、井出町側からも適地を決定し整備していく。

質問 市民後見人の養成支援の方法は。
答弁 平成24年度に27人の市民



質問 高崎の農産物である高崎そだちを、地元消費に結びつける具体的な施策は。
答弁 フードアルチザン活動に取り組み、販売PR活動の結果国分じんじんの新たな加工品が開発された。また、開店予定の大型スーパーでも地場産売り場を設け、販売拡大に取り組む。



市内農産物「高崎そだち」